



「補聴器は、いつ、着けはじめたらいいの？」

最近聞こえが悪くなったな、と感じたり、ご家族やご友人に聞こえの悪さを指摘されて気になったという方が、受診されます。聴力検査を行うと、軽い難聴が始まっていることが多いです。残念ながら、年齢変化で聴力が悪化することを食い止める治療は今のところ存在しません。年齢変化による聞こえの低下を補うための方法は、補聴器の装用です。補聴器の主な目的は「会話を聞き取りやすくする」というものです。音声はなるべく聞き取りやすくして、雑音はなるべく小さくするように作られています。どのくらい聴力が下がったら補聴器をしたほうがいいですか？と聞かれることがあります。聴力検査のデータだけで決めることは難しく、その人の生活スタイルやどのくらい困っているかということも含めて判断していきます。補聴器を試聴してみると、多くの方が会話がしやすくなったりテレビの音量を下げるすることができます。しかし、どうしても耳がふさがり感覚が我慢できなかつたり、高価なものであるためそれだけの価値を感じられない方もいます。補聴器をつけるべきかどうかは医師が決めることというよりも、本人が決めることだと言えます。もちろん、難聴や補聴器についての知識は医師や言語聴覚士のほうが豊富なので、ご相談いただければ一緒に検討させていただきます。

オギジビ 豆知識

もうすぐ七夕です。オギジビの待合室にも小さな笹飾りが飾られました。最近ではハロウィーンなどの行事のほうがメジャーになり、昭和生まれの私たちが子供の頃とは様子が変わっているように思います。織り姫彦星の伝説は室町時代には民間に広まっていたそうです。七夕の風習、後世に大切に伝えていきたいものですね。



オギジビの輪

- お友達・お知り合いに、是非おぎはら耳鼻咽喉科をご紹介します。
- 神奈川県では珍しい、言語聴覚士のいる耳鼻咽喉科です。難聴や補聴器については大学病院レベルの診察・検査体制を整えています。
- ちょっとした不安の解消から専門的な診察まで、幅広く行っています。